

当院における新型コロナ対策

※当院では新型コロナウイルス対策の感染対策として以下の項目を遂行しております。

① 医院に設置した換気扇6台を常時使用し、常に換気しております
⇒ 医院の空気を常に交換し感染リスクを軽減しております

② 空気清浄器を2台、常時使用しております
⇒ 医院の空気を清浄化し、感染リスクを軽減しております

③ これまで同様滅菌作業は徹底しております
⇒ 患者様を經由した患者様同士の感染リスクを軽減しております

④ 同じ時間に多くの患者様の予約を行わないようにしております
⇒ 患者様が密集しないことで、感染リスクを軽減しております

⑤ 診療台の清拭は1人ずつ必ず行っております
⇒ 患者様を經由した患者様同士の感染リスク軽減をしております

⑥ 口拭きタオルの持参を呼びかけております
⇒ 不特定多数者が触る可能性を可及的に排除し感染リスクを軽減しております

当院では、医療は『不要不急』からは外れると考え、日々の診療を行っております。

上記の新型コロナウイルスに対する感染対策を行っております。また、日頃から新型コロナだけではなく、一般的な感染症対策として器具の滅菌などもしっかり行っております。

患者様におかれましても様々なご心配があるかと存じますが、当院として十分に感染に配慮しながら患者様のご健康に寄り添えたらと考えております。

院内の治療環境は上記のように配慮しております。

臨床の歴史のなかで、歯科は医科に比べてその性質上、『細菌感染・ウイルス感染対策』には力を注いでおります。通常からグローブやマスク、目を守る為の防護メガネなど、歯科領域では常識的に着用しております。また、金属や義歯を削ることがあることから、換気扇や飛散・飛沫物の回収については通常から話題になる事柄です。

今回の新型コロナウイルスは人類にとって未知なることが多く存在しますが、報道されていることは微生物一般的なことであり、新型コロナに限ったことではありません。正しい知識を持ち、正しい警戒をしていくことが大切だと当院では考えております。

当院では通常より感染対策は行い、衛生面でも注意を払っておりますが、それでも微生物の感染を100%防ぐことはできません。そもそも、人間も動物なので無菌ではありません。何を警戒し、どのような対策をするべきか、どのような行動をするべきか、それについて当院も考え、随時対応していきたく存じます。

絶対に感染しないという方法論はありませんが、できるだけ感染のリスクを下げていくことは重要です。その意味でも、当院は上記の対策を行いながら診療を続けております。

今後とも、これまでと変わらず、皆様のご健康に寄り添えることを目標に日々診療して参ります。

令和2年4月

ふたぎ歯科医院

院長 二木正晴